

# jFUNU Newsletter

公益財団法人 国連大学協力会  
 〒 150-8925 東京都渋谷区神宮前 5-53-70  
 TEL 03-5467-1368 FAX 03-5467-1349  
 URL <http://www.jfunu.jp/> E-mail [jf@unu.edu](mailto:jf@unu.edu)

- jfScholarship 生、博士課程修了
- 新春歌舞伎「世界花小栗判官」鑑賞会
- JFUNU の理事会・評議員会開催
- 小宮山宏理事長、国際賞受賞

## jfScholarship 奨学生、博士課程修了



(左下) 感謝状を受け取る長谷川専務理事 (中) 記念品の団扇を贈る森常務理事

2018年1月10日、国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)の博士課程の修了式が執り行われ、jfScholarship(国連大学協力会奨学金)奨学生のZar Chi Hlaingさんに博士号が授与されました。修了式には、指導教官や大学院プログラムスタッフの他、ご家族や苦楽を共にした在校生が集い、非常に和やかな雰囲気の中、Hlaingさんの門出を祝いました。修了式では、竹本和彦 UNU-IAS 所長から学位証書が手渡され、齊藤修 UNU-IAS 教授より記念品が贈られました。また、jfScholarship 奨学金を受給して博士課程を終えた Hlaing さんから、感謝状が国連大学協力会(JFUNU)の長谷川専務理事に手渡され、森常務理事からは、日本の思い出にと歌舞伎団扇が贈られました。Hlaing さんは在学中、ミャンマー北西部における森林資源の活用と農村部の生活について研究を行いました。(博士論文: Local Knowledge in rural livelihoods and forest resource utilization in North-western Myanmar) 帰国後は母国ミャンマーへ戻り、研究者としての活躍が期待されます。

## Thank you for your kind support!

ご支援いただいたみなさまへ

国連大学サステナビリティ高等研究所博士課程を修めるにあたり、奨学金を支給していただいたこと、心より御礼申し上げます。奨学金をいただけたことは名誉ある事だと思っています。この機会をお借りして、jfUNU 奨学金へご寄付いただいた皆様のあたたかいお気持ちに感謝の意を表したいと思います。私は常日頃から、将来海外の一流大学へ留学し、優秀な研究者となることを夢見ていましたが、発展途上国出身の学生であるということもあり、博士課程への進学は難しいであろうと思っていました。しかし、jfUNU から奨学金を得て、国連大学サステナビリティ高等研究所博士課程に進学することができました。今、無事に勉学を終え、数々の経験を経て、自身のキャリアに必要な知識をより一層深めることができました。修了後は、ミャンマー政府森林局の森林研究所に戻ります。帰国後は優秀な研究者として国に貢献し、研究プロジェクトでは自身が得た知識を活かして学生の指導に尽力したいと思います。研究者として新たなキャリアをスタートさせるにあたり、その出発地となるコミュニティに自身の活動の成果を還元できることが楽しみです。間違いなく、この奨学金は、私の夢を叶えるにあたり重要な役目を果たしました。みなさまのあたたかいご支援により、進学に際しての経済的な負担がなくなりました。そのおかげで、お金の心配をすることなく、自身の勉学や研究、その他課外活動により多くの時間を割くことができました。国連大学サステナビリティ高等研究所への支援と、私のような学生の未来を応援してくださり、ありがとうございました。

Zar Chi Hlaing より



Republic of the Union of Myanmar  
 ミャンマー連邦共和国

130以上の少数民族が住む多民族国家で、インド、バングラデシュ、中国、ラオス、タイと国境を接し、ベンガル湾、アンダマン海に面する緑豊かな国。就労人口の半分以上が農業に携わる農業国である。また、ルビー、サファイア、ヒスイなど宝石の産地としても知られている。中部に位置する都市バガンは世界三大仏教遺跡に挙げられ、大小の寺院や仏塔(パゴダ)が立ち並んでいる。この他にもミャンマー最後の王朝があった古都マンダレーにも様々な遺跡が残り、今でも伝統芸能や工芸が伝承されている。少数民族が暮らす高原地帯のインレー湖には独特の文化と風習があり、少数民族が公益のために集まってくる。



ーバガン遺跡ー

美しい緑の平原に数千ものパゴダ(仏塔)や寺院が点在して立ち並ぶ姿は圧巻。

# はじめての 歌舞伎

2018年1月17日  
歌舞伎鑑賞会



国連大学協力会では、年の初めに国連大学で学ぶ外国人学生や研究者を対象に、歌舞伎鑑賞会へご招待しています。今年はフィリピン、メキシコをはじめとする、世界9か国14名の学生たちが新春歌舞伎を鑑賞しました。

この日の演目は「世界花小栗判官（せかいのはなおぐりはんがん）」。「すれ違いを繰り返しながら艱難辛苦を乗り越える小栗判官とその恋人の照手姫（てるてひめ）」の物語です。馬術の名手である小栗判官が荒馬・兎鹿毛（おにかげ）を鮮やかに乗りこなす姿や、照手姫の危機を救う小栗判官の家臣浪七（なみしち）の命懸けの立廻り、熊野権現の霊験が判官と照手姫に起こす奇跡など、あっと驚かされる仕掛けが盛りだくさんでした。

学生たちは、大向こうの「音羽屋!!」の掛け声の大きさにびっくりしたり、およそ男性が演じているとは思えない、女形のしなやかな動きに感嘆の声をもらしていました。また、昨年話題となった赤ちゃんパンダのシャンシャンやお笑い芸人ブルゾンちえみをモチーフにした演技が盛り込まれる一幕もあり、伝統芸能に時事ネタが取り入れられていたことにも驚いたようです。

学生たちは、笑いあり、感動ありの歌舞伎の世界にすっかり魅了されたようでした。

## 国連大学協力会の理事会が開催されました



田中俊郎理事、小宮山宏理事長、福山幸一理事を囲む学生たち

2017年11月14日、国連大学本部ビル5階のエリザベス・ローズ国際会議場にて理事会（通算第39回）、評議員会（通算第21回）が開催されました。国連大学協力会の役員・評議員はじめ、国連大学の関係者や関係各省から多くの出席があり、活発な議論が交わされました。2018年度国連大学協力会の事業計画並びに収支予算等の審議が行われ、審議の結果、異議なく承認されました。会議終了後には、出席者とjfScholarship奨学生を含む国連大学大学院生との懇談会が、和やかな雰囲気なかおこなわれました。

UNU-IAS 大学院生を  
支援しよう！

-jfScholarship 募金-

jfScholarship 奨学金とは、国連大学大学院で学ぶ開発途上国出身の学生を支援する国連大学協力会の奨学金です。過去には、ザンビアやジンバブエなどのアフリカ諸国をはじめ、フィリピン、スリランカなど世界各国からの未来のリーダーを育ててきました。みなさんも一緒に応援しませんか？詳しくは事務局までお尋ねください。

## 「シェイク・ムハンマド・ビン・ラシード・アール・マクトゥーム知識賞」受賞

国連大学協力会理事長の小宮山宏は、社会課題を解決し人類のより良い未来を築くためのビジョンを提唱し、牽引してきたことが評価され、2017年11月21日に「2017シェイク・ムハンマド・ビン・ラシード・アール・マクトゥーム知識賞（Sheikh Mohammed Bin Rashid Al Maktoum Knowledge Award）」を受賞しました。シェイク・ムハンマド・ビン・ラシード・アール・マクトゥーム知識賞は2014年に始まったドバイ首長名の国際賞で、世界への知識の普及に優れた貢献をした人物や団体に授与される賞です。

本やDVDで国際協力  
-古本募金-

お手元に読み終わった本やDVD、ゲームはありませんか？買取相当額が国連大学の活動に役立てられます。

- ①まず、箱に本をつめます。
- ②ウェブサイトに必要な事項を記入。
- ③あとは宅配業者さんが家まで取りに来てくれるのを待つだけ。

お申し込みはこちら→[charibon.jp/partner/jfunu/](http://charibon.jp/partner/jfunu/)